

アジレント・テクノロジー株式会社
コーポレート・リレーション部

T E L : 042-660-8426
F A X : 042-660-8438
<http://www.agilent.co.jp/>

〒192-8510
東京都八王子市高倉町 9-1



Press Release

2011年3月29日

PREMG11-11

アジレント・テクノロジーが、 高感度でコンプライアンステストにも最適なEMIレシーバを発表

アジレント・テクノロジー株式会社（社長：梅島 正明、本社：東京都八王子市高倉町9番1号）は、電気・電子機器の電磁両立性（EMC）のコンプライアンス試験向けのEMIレシーバ「N9038A MXE EMIレシーバ」を発表、本日より販売を開始します。今回発表のMXEは-163 dBm@1 GHzの表示平均雑音レベル（DANL）という高感度を実現しており、ノイズを抑え、EMIレシーバとしての基本性能である優れた入力感度を実現しています。

MXEは、電気・電子機器の伝導性・放射性ノイズの測定に使われるメジャリング・レシーバとして、国際電気標準会議（International Electrotechnical Commission、IEC）の定めるCISPR 16-1-1 2010の勧告に完全適合しています。CISPR 16-1-1 2010の要求仕様をはるかに超える±0.78 dBの絶対振幅確度を実現しており、測定の確度を高めるとともに、再現性、信頼性の高い測定結果を得ることができます。

MXE EMIレシーバは周波数スキャン、ピーク信号のリストアップ、ピーク検波/準尖頭値検波/平均値検波のリアルタイム・アナログメータ表示、時間変動確認に便利なストリップ・チャート表示機能などEMI規格測定を行う上で十分な機能だけでなく、スパンズーム、ゾーンスパン、スペクトログラム表示などノイズの原因診断に有効な各種解析機能を搭載しています。Xシリーズシグナル・アナライザのアーキテクチャを採用したEMIレシーバであるスペクトラム・アナライザ一体型のMXEシリーズでは、これら以外にも当社のXシリーズシグナル・アナライザで動作する多様な測定アプリケーションが動作します。雑音指数測定（オプション発売予定）、位相雑音測定、無線通信測定なども1台でこなせることから、被測定物の信号を多面的に評価し、新たな見識を得ることが可能です。

当社のマイクロ波&コミュニケーション事業部担当バイスプレジデント兼ジェネラルマネージャのギー・シネ (Guy Séné) は次のように語っています。

「EMI レシーバ・モードとシグナル・アナライザ・モードを高速に切り替えることができる MXE を使用すれば、ラボにおいて、コンプライアンス試験に留まらず、付加価値の高いサービスを提供できるようになります。拡張性の高い X シリーズ シグナル・アナライザを踏襲しており、今後の標準規格変更や追加測定要求にあわせて拡張していくことができます。」

当社の X シリーズ シグナル・アナライザは、ハードウェア、測定手法、ソフトウェア全般にわたって、革新的な信号解析を実現しています。複数の製品やプログラムにわたり、ビジネス上、および技術上の要求に対応する柔軟性を提供します。X シリーズは共通のプラットフォームで信号解析を行うことができるので、開発初期の設計、性能保証、試作から製造ライン立ち上げへと迅速にプロジェクトを進めることが可能です。今回発表の新製品 MXE EMI レシーバのほか、X シリーズには、最上位機種の PXA、ミッドレンジの MXA、エコノミクラスの EXA、ローコストの CXA があります。また、25 以上の業界を代表する測定アプリケーションを提供しています。

EMI およびその試験の重要性

EMI とは空中もしくは AC ラインを経由して電気・電子回路の正常な動作に影響を与える電磁妨害のことを指します。高速信号を伝送するためにはノイズの少ない環境が必要であることから、デジタル信号処理の高速化に伴い、ノイズ抑制への要求は厳しくなっています。EMI 試験では、他の機器に影響を与える可能性のある不要放射がないことを確認します。

多くの国では政府によって EMC 規制が行われているため、製品開発においてコンプライアンス試験が重要となります。通常、公式ラボでコンプライアンス試験を行います。試験にフェイルした場合には、同じ手順を再度、一から踏まなければなりません。そのため、多くのメーカーでは、公式ラボでの試験を効率よくパスできるようにするため、社内で CISPR に準拠したレシーバを使ってプリ・コンプライアンス試験を行っています。

販売方針

* 目標市場： EMC 試験ラボおよびメーカーにおける EMC 試験向け

* 販売価格（発表日時点での税抜き参考価格です）：

N9038A MXE EMI レシーバは、アジレント、および株式会社東陽テクニカ、ETS-Lindgren 社、TDK RF Solutions 社をはじめとする、新たなラボ設置や既存施設拡大などで実績ある多数のソリューション・パートナーを通して、販売します。

N9038A-508 (20 Hz~8.4 GHz) 約 9,500,000 円

N9038A-526 (20 Hz~26.5 GHz) 約 12,500,000 円

* 販売開始日： 2011 年 3 月 29 日

製品の詳細情報は、以下のウェブサイトでご覧いただけます。

<http://www.agilent.co.jp/find/MXE>

製品写真は、以下のウェブサイトからダウンロードいただけます。

http://www.agilent.com/find/MXE_images

N9038A MXE EMI レシーバ、ならびに X シリーズ全体の背景説明資料は、以下のウェブサイトからダウンロードいただけます。

http://www.agilent.com/find/MXE_backgrounder

http://www.agilent.com/find/X-Series_backgrounder

#

お客様からのお問い合わせ先（記事掲載時の連絡先もこれでお願ひします）：

計測お客様窓口

電話：0120-421-345

この発表に関する報道関係者各位からのお問い合わせ先：

広報担当 関

電話：042-660-8426

アジレント・テクノロジーについて

アジレント・テクノロジー (NYSE:A) は、化学分析、ライフサイエンス、エレクトロニクス、コミュニケーション市場における世界のプレミア・メジャメント・カンパニーであり、またテクノロジー・リーダーでもあります。18,500名の従業員を擁し、100カ国以上でビジネスを展開しています。アジレントは、2010年度、54億ドルの売上高を達成しました。アジレント・テクノロジーの情報は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.agilent.co.jp>

※このプレスリリース中の「アジレント・テクノロジー」、「アジレント」、「当社」は、文脈により、「アジレント・テクノロジーズ・インク」、その日本人や各国の法人、グループ全体を指すことがあります。